

様式 1

履 歴 書				写 真
フリガナ 氏 名	ヨコクニタロウ 横 国 太 郎	性別	男	
西暦生年月日(年齢)	西暦〇〇年〇〇月〇〇日(満〇〇歳)			
現 住 所	〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4			
電話番号/FAX番号 e-mailアドレス	045-339-xxxx / 045-339-xxxx xxxxxxxx@ynu.ac.jp			
学 歴				
西暦年 月	事 項			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇高等学校卒業			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇学研究科修士課程〇〇学専攻入学			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇学研究科修士課程〇〇学専攻修了(修士(〇〇学))			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇学研究科博士課程〇〇学専攻入学			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇学研究科博士課程〇〇学専攻単位修得退学			
西暦〇〇年〇〇月	博士(〇〇学)〇〇大学			
職 歴				
西暦年 月	事 項			
西暦〇〇年〇〇月	株式会社〇〇研究所入社			
西暦〇〇年〇〇月	株式会社〇〇研究所〇〇課長(西暦〇〇年〇〇月まで)			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科非常勤講師(西暦〇〇年〇〇月まで) 担当授業科目: 〇〇概論、〇〇論			
西暦〇〇年〇〇月	株式会社〇〇研究所退社			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科専任講師(西暦〇〇年〇〇月まで) 担当授業科目: 〇〇論、〇〇分析論、〇〇学概論			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇学研究科准教授(現在に至る) 担当授業科目: 〇〇学特論、〇〇学演習			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部准教授(現在に至る) 担当授業科目: 〇〇学概論、〇〇論、〇〇学演習			
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等				
西暦年 月	事 項			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇学会会員(現在に至る)			
西暦〇〇年〇〇月	〇〇市〇〇委員会委員(現在に至る)			

西暦〇〇年〇〇月	〇〇学会会員（西暦〇〇年まで）		
西暦〇〇年〇〇月	〇〇学会理事（西暦〇〇年まで）		
賞		罰	
西暦年	月	事 項	
		なし	
現在の職務の状況			
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況（担当授業科目、職務の内容等）
〇〇大学	准教授	〇〇学研究科	〇〇学特論、〇〇学演習
〇〇大学	准教授	〇〇学部	〇〇学概論、〇〇論、〇〇学演習
株式会社〇〇	部長	〇〇部	〇〇部統括
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: right;">西暦〇〇年〇〇月〇〇日 横 国 太 郎 印</p>			

様式1（履歴書）記入要領

- ◎ 「学歴」欄には、高校卒業から最終学歴まで記入。
- ◎ 博士課程を出て博士号未取得の者の学歴は、「博士課程単位取得退学」と記入。
- ◎ 学位のほか公認会計士、弁護士等の資格についても「学歴」欄に記入する。なお、外国における資格についても正確に記入するとともに、その内容について併記すること。
- ◎ 外国留学について、「学生」としては「学歴」欄、「研究者」としては「職歴」欄に記入。
- ◎ 「職歴」は、すべての職歴について記入し、職名・役職等についても明記。各職歴について、在職 期間が明確になるように記入。現職については必ず「現在に至る」と明記。なお、自営業、主婦無職等についても省略せずに記入。
- ◎ 大学の教員の職歴については、非常勤講師についてもすべて記入。また、改行のうえ担当授業科目名をすべて記入。
- ◎ 「学会及び社会における活動等」は、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入。所属学会名は、正確に記入。理事等の役職についても、その名称及び在任期間を付記。
- ◎ 「現在の職務の状況」は、「職名」については、大学等の教員の場合は、『教授』『准教授』等の職位を記入。それ以外の職に従事している場合は、『取締役』『理事』等の職名を記入。職名が無い場合は『-』を記入。「勤務状況」については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の西暦年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 ○○学基礎	共著	20XX年X月	○○書院	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○■ 200文字程度の説明文。 (吉田○○, 鈴木○○, <u>横国太郎</u>) 第3章「○○について」pp. XX~XXまでを担当。
2 解説○○論 (再掲)	共著	20XX年X月	△△出版	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○。 (<u>横国太郎</u> , 大久保○○) pp. XX~XXまでを担当。
(学術論文) <学位論文> 1 ○○における○○ (修士論文)	単著	20XX年X月	○○大学 ○○科○○専攻	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○■ 200文字程度の説明文 pp. XXX
<査読付き論文> 1 ○○における○○と○○の現状と課題 (査読付)	共著	20XX年X月	○○○研究 第8巻第2号	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○■ 200文字程度の説明文。pp. XX~XXに掲載 (安倍○○, <u>横国太郎</u> , 中川○○) 共同研究につき, 本人担当部分抽出不可能。
<その他論文> 1 ○○における○○	単著	20XX年X月	○○研究	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○■ 200文字程度の説明文。pp. XX~XXに掲載。
(その他) <翻訳> 1 「○○における○○」	単著	20XX年X月	○○出版	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○■ 200文字程度の説明文 pp. XXX
(その他) <調査研究報告書> 1 ○○の現状と課題	単著	20XX年X月	○○省	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○■ 200文字程度の説明文。pp. XXX
(その他) <学会報告> 1 ○○についての一考察	単著	20XX年X月	○○学会全国大会 (○○大学)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○■ 200文字程度の説明文。

様式2（教育研究業績書）記入要領

1. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

- ① 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金応募の際に利用する「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを1つ以上3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを1つ以上5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、表中のワードを参考に適宜記入してください。
- ② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（大学設置基準第14条第3号及び第6号、第15条第5号、第16条第2号、第16条の2第3号に該当する者）としての審査を希望する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。

2. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入。
- ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を西暦で記入。
- ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果について、明確かつ簡潔に記入。
- ④ 「教育上の能力に関する事項」について

ア 「1 教育方法の実践例」欄

高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解促進のために工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入。

※①教えた機関（大学名等）、②科目、③常勤・非常勤の別などの記載とともに、導入した独自の教育方法の実践例を記入

例 1 優れた教育方法の実践例、ICTを活用した授業実践例、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等

例 2 教育機関や社会人講座、企業研修などでの教育経験

イ 「2 作成した教科書、教材」欄

作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要。（後の研究業績の「著書、学術論文」との重複も可。その場合は、本項目の概要欄に（〇頁「(番号と名称を記載)」を参照）と記すこと。）

ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」欄

教育上の能力に関する客観的評価を記入。教育上の取り組みに対して大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入。

例 1 大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）

例 2 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価

例 3 学生による授業評価，教員同士の相互評価等

例 4 学外の評価機関等が行った評価

例 5 上記以外で学長，学部長が行った評価（客観性を持ったものについて記載）等

エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

成果を上げた教育に関する取り組みを記入。

例 1 大学から受け入れた実習生に対する指導歴（教育・保育実習，企業実習等）

例 2 企業内教育，大学公開講座，社会教育講座の講師としての講義，シンポジウムにおける講演等の概要

例 3 その他，所属機関や関係機関等において行った講義，講習，職員・関係者等に対する指導，海外等における留学，調査研究経験等

オ 「5 その他」

1 から 4 に該当するもの以外の事項について幅広く記載。

例 1 大学教育改善に関する団体等での活動の概要

例 2 教育実績に対する受賞歴等

⑤ 「職務上の実績に関する事項」について

ア 「1 資格，免許」欄

○ 公認会計士，税理士，弁護士，教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

イ 「2 特許等」欄

○ 特許，実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」欄

履歴書の「職歴」欄に記載した事項を中心に，担当する教育内容等に関連する実績について、従事した期間、職務の内容（どのような職務について，どのような役割を果たしたか）及び成果，結果を記載。

（項目例）

○ 企業，官公庁等の研究者の場合

・開発した新製品・製法などの概要

・大学との共同研究による研究実績がある場合，その概要・成果・当該研究者の役割

○ その他，企業・団体等関係者

・国際開発，先端技術，国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

- 情報技術者関係の場合
 - ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法，ソフト・システム開発歴）
- マスコミ関係者の場合
 - ・執筆した記事の概要
 - ・作成した番組の概要
- その他全般を通じて
 - ・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
 - ・各種審議会・行政委員会等の委員
 - ・行政機関における調査官等
 - ・研究会・ワークショップ等での報告
 - ・調査研究，留学，海外事情調査等
 - ・上記を裏付ける報告書，手引書，マニュアル，雑誌等

エ 「4 外部資金獲得実績」

- ・科研費：研究代表者として採択された研究課題について、種別、研究課題名、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。
- ・科研費以外の公的研究費：代表者として採択された、日本学術振興会、JST、NEDO、省庁・地方自治体などの公的研究費について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。
- ・その他民間機関からの研究費等：代表者として採択された、民間企業からの受託・共同研究費、民間財団からの助成等について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。
- ・業績の最後に合計数と、その内数としての科研費獲得件数、科研費以外の公的研究費獲得件数を記入してください

オ 「5 その他」

1 から 4 に該当するもの以外の事項について幅広く記載。

例 1 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

例 2 論文の引用実績等

- ⑥ 資格の証明書，雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

3. 「研究業績に関する事項」の欄について

- ① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。ただし、学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記し、証明書を添付してください。この場合、証明書にも、氏名及び通しページを記載してください。なお、投稿予定のもの及び投稿したが掲載未定のものを含めないでください。
- ② 「著書，学術論文等の名称」の項について

ア 原則として研究等に関連する**すべての業績**を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、それぞれの年月日順(過去→現在)に、各業績を**発表順に通し番号**を付して記入してください。

イ 著書については、書名を記入してください。

ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文、査読付き論文、その他の論文に区分して記入してください。**学位論文**についてはその旨(修士論文、博士論文、など)明記し、**査読付きの論文**については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

オ プロシーディングのうち、査読と審査を経た評価の高いものについては、その他に記載し、学術論文に相当する旨を概要に記載してください。

カ 著書、学術論文等が外国語の場合、著書名等(共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む)はその外国語で記入するとともに、()書きで訳文を記入してください。

③「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。(一冊の本を数人で執筆した場合は、当該部分が単著であっても、共著として記入してください。)

④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を**西暦**で記入してください。

⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

ア 著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

⑥「概要」の項について

ア 当該**著書等の概要を200字程度**で記入してください。

イ 当該著書等が共著の場合には、**本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ(例. pp. XX~XX)**を記入するとともに、**本人の氏名(下線を付すこと。)**を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。(例. 編者△△△△, 分担執筆○○○○, □□□□, ××××)

また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。(例. 「共同研究により担当部分抽出不可能」など)